



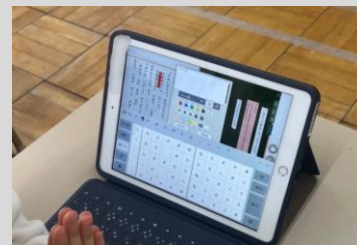
NEXT GIGAに向けた 協働的な学びを実現する授業改善のポイント

NEXT GIGAに向け、タブレット端末を活用した「**協働的な学び**」を実現するために、
以下のポイントを授業に取り入れていきましょう。

Point 1

自分の考えをもつ時間を設けましょう。

学習者用デジタル教科書等を有効に活用して、子どもたちが、自分の考えをもつ時間を確保しましょう。すべての子どもが、自分の考えをもつことができるよう、実態に応じて教師が適切に指導・支援していくことが大切です。



▲学習者用デジタル教科書で考えを整理

Point 2

コミュニケーションツールで考えを共有しましょう。

Microsoft Teamsをはじめとするコミュニケーションツールを活用し、子どもたちの考えをグループや学級全体で共有し合う場面を積極的に取り入れましょう。共同編集機能を活用し、考えを共有することも有効です。



▲Teamsスレッドで考えを共有

Point 3

共有した考えを議論する場面を設定しましょう。

コミュニケーションツールで考えを共有した後、子どもたちで議論し、考えを深める場面を取り入れましょう。考えた根拠についてグループや学級全体で交流させたり、子どもの発言に対し、適切に問い返したりする教師の役割が重要になります。



▲共有した考えをもとに議論

学校生活におけるタブレット端末使用の日常化をすすめましょう！

「協働的な学び」を推進するためには、教師はもとより、子どもたちにも「タブレット端末の活用が、“当たり前”」という考え方が、浸透している必要があります。ポイントは、「学校生活におけるタブレット端末使用の日常化」です。以下の例を参考に、授業以外にも、子どもたちの学校生活の中で、タブレット端末を使用できる場面はないか、確認していきましょう。

★連絡で活用！

子どもたちの発達段階を踏まえた上で、毎日の連絡をタブレット端末で行っていきましょう。タブレット端末を毎日持ち帰ることにもつながります。

★学びの記録に活用！

タブレット端末を活用して、学びの記録を保存していきましょう。子どもたちが、学びの記録を見返しやすくなり、自分自身の成長を感じることができます。

★家庭学習で活用！

家庭学習においても、タブレット端末を有効活用していきましょう。課題提出機能を使うことで、一人ひとりの学習状況を的確に把握することもできます。